

発行所  
津奈木公民館  
芦北郡津奈木町  
電話(78)5400  
平成21年1月1日発行  
第384号  
○右の題字は「徳富蘇峰さん」  
の額を移したものです。

前々々々々

津奈木



## 祝成人 未来へはばたく 成人者名簿 (行政区別)

成人式は1月3日(土)午前10時から、つなぎ文化センターで開催

|     |       |     |       |     |       |      |       |
|-----|-------|-----|-------|-----|-------|------|-------|
| 竹 中 | 小川 鉄平 | 桜 戸 | 山口登陽賀 | 上下門 | 河合絵里奈 | 日 当  | 伊藤 久央 |
|     | 下り藤麻紀 | 町 中 | 賤部 惇也 |     | 田口 真弓 |      | 篠原 卓人 |
|     | 乗田 一恵 |     | 賤部 貴子 |     | 福田 優依 |      | 田嶋 亮  |
|     | 松永 寿史 | 新 川 | 川崎 誠  | 福 浦 | 福田 歩美 |      | 林田 舞美 |
|     | 山崎真莉子 | 古 川 | 坂崎 翔太 |     | 福田 成美 | 日 添  | 五島 陽子 |
|     | 吉村 晶  |     | 西川 諒  |     | 福田 祥秀 |      | 福田 里奈 |
|     | 宮川 瞳  |     | 山下 朋美 |     | 福山 康平 | 小津奈木 | 石田 麻奈 |
|     | 山崎 貴大 | 大 泊 | 真野 翔太 |     | 福山 貴文 |      | 上野 秀人 |
| 染 竹 | 山崎 聖枝 |     | 真野 帆波 | 平国上 | 濱田 健智 |      | 中村 正浩 |
|     | 川野健一朗 | 中 尾 | 浦田さやか |     | 濱田 麻美 | 辻    | 橋口 孔明 |
|     | 福山 靖久 |     | 小川 将吾 |     | 関田 圭  | 丸 岡  | 千々岩麻未 |
| 浜 崎 | 前田 崇宏 |     | 湊本 竜平 |     | 平野 悠里 |      | 上田 舞  |
|     | 小坂 綾  |     | 六車悠太郎 |     | 村上 光  |      | 緒方 遼  |
| 桜 戸 | 松本 兼明 | 古中尾 | 伊藤 龍  |     | 村嶋 結  |      | 木下 恭平 |
|     | 浦口 美奈 |     | 古本 俊二 | 平国下 | 長濱 景  |      | 永田 美保 |
|     | 長友 美波 | 倉 谷 | 下田 祐也 |     | 野崎 千尋 |      |       |
|     | 林田 一輝 |     | 山本 翔太 |     | 濱田 愛  |      |       |
|     | 正木 秀平 | 内 野 | 大久保綾香 |     | 平野 りさ |      |       |
|     | 松田 里美 |     | 吉澤 奈央 |     | 松本 和樹 |      |       |

※この名簿は、中学校  
卒業生名簿を参考に  
作りました。

## 新成人としての決意



現在、電気専門学校に通っていて卒業後はプラント関係の仕事に就きます。社会人となれば、今までとは違った辛い事や悩む事が出てくるとは思いますが、それに負けないよう大人としての自覚や責任を持って弛まぬ努力と技術の研鑽に努めたいと思います。そして、ここまで育ててくれた親や自分を支えてくれた友に感謝し、これから先、少しずつ恩返しが出来たらと考えています。(伊藤久央)



いよいよ今年、成人を迎えることになりました。ついこの前まで高校に通っていたのに、もう成人だと考えるととても早く感じます。私はこれまでいろんな人に頼りながら生活してきました。しかし、大人の仲間入りということで、これからは周りに頼ってばかりはいられません。自分で考えて行動し、逆に頼ってもらえる人間になりたいです。(山本翔太)



成人を迎えるということは、これから先、自分の考え、行動に責任を持つという事だと思います。私はこれまで沢山のひとと出会い色々な事を学びました。現在、大学に通っており、将来の夢に近づけるよう努力しています。私は学んだことを活かして人の役に立てるようになりたいです。そして、色々な事に挑戦して成長していきたいです。(平野りさ)



早いもので今年成人式を迎えることになりました。二十歳になるとともに、まず第一に社会人としての自覚を持ち、自分の行動、助言などにしっかり責任を持たなければいけません。また、今まで育ててもらった家族、どんな時も支えてくれた友人に感謝して、これから恩返ししていきたいと思っています。(古本俊二)